

# アート・リサーチセンター

(立命館大学)



立命館大学アート・リサーチセンターは文化、芸術、有形、無形の文化財を対象に、文化的歴史的社会的な視点から、研究し、保存・整理・情報発信することを目的とした研究機関である。

1998年6月に設立され、同年文部省私立大学学術フロンティア推進拠点の指定を受けた。2007年には文部科学省グローバルCOEプログラム「日本文化デジタル・ヒューマニティーズ拠点」（立命館大学）として採択され、現在20以上の研究プロジェクトが進行中、学内外の多くの研究者や大学院生が活躍している。林美一文庫、藤井永観文庫など、多くのコレクションを所蔵しており、古典籍、絵画、工芸品なども収集、保存を進めている。同センターの有するデータベースの本数は250を越え、蓄積されてきたデータは数百万件にのぼる。

また、研究プロジェクトによる最新の研究成果を、研究紀要『アート・リサーチ』（年一回刊行）や国内外の学会などで広く公表している。